

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
1	16番 杉田隆一（一括質問）		
	1. 令和5年度当初予算の総括について		
	(1)	令和5年度当初予算編成について 令和5年度当初予算に込めた市長の思いを問う。	市長
	2. デジタル関連の予算について		
	(1)	令和4年度のデジタル関連事業の主な取組について 能美スマートインクルーシブシティ構築事業をはじめとする、デジタル関連の令和4年度取組状況について問う。	市長
(2)	令和5年度当初予算でデジタルに対する市長の意気込み等について 令和5年の決意を漢字一字「導（デジタル）」に込め、令和5年度当初予算にどのように反映させたのか。デジタル関連事業に対する市長の意気込みと具体策について問う。	市長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
2	13番 南山修一（一括質問）			
	1. 新年度に向けて能美市を取り巻く情勢と課題について			
	(1)	知名度・認知度の向上について	令和5年度は、加賀立国・能美誕生1200年、いしかわ百万石文化祭2023などが開催されるが、これらを千載一遇の好機と捉え、「知名度・認知度の向上」にむけた能美市独自の事業展開を問う。	市長
	(2)	災害復旧の取組体制について	昨年起きた未曾有の大災害の復旧工事に向けて、新年度は、どのような体制で対応するのかを問う。	総務部長
	(3)	まちづくりについて	まちづくりには行政だけでなく市民や地域、企業、団体などとの連携・協力が不可欠であると思うが、「市民協働のまちづくり」「人づくり」を今後どのように取り組んでいくのかを問う。	企画振興部長
	2. 学校の適正規模について			
	(1)	市内の小中学校の児童・生徒数の実態について	市内の小中学校の児童・生徒数の推移、及び今後の見込み数を問う。	教育委員会 管理局长
	(2)	市内の小規模校の児童・生徒数の実態について	市内の小規模校児童・生徒数の実態及び児童数の推移の見込み、及び2032年に小規模校となる小中学校の見込みを問う。	教育委員会 管理局长
	(3)	小規模校の課題や統廃合の計画はあるのか	小規模校における教育と運営の課題、及び統廃合の計画を問う。	教育長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
1	14番 東 正 幸（一問一答）		
	1. 令和4年8月大雨災害の復旧復興への取組について		
	(1)	関係者との対話集会や説明会の開催について 他市で開催された復旧復興の地元説明会において、不安や不満が噴出したと聞くが、能美市において、被災農地の復旧復興の説明会を開催されているのか、内容について問う。	産業交流部長
	(2)	被災農地における収穫時の農業機械本体や部品等への被害について 表面上被害が分からなかった農地において、土砂や木の枝等の異物がコンバインに差し込み、農業機械本体や部品の修繕、修理が必要となったと聞くが、それらの補償支援の考えを問う。	産業交流部長
	(3)	補助金の執行状況の内訳について 被災による作業経費の一部補助金の執行状況の内訳を問う。	産業交流部長
	(4)	護岸工事と頭首工修繕について 河川の護岸工事と、農業用頭首工工事の担当部署が違うと聞くが、互いの連携等の実態はどうなっているのか。また、そうした状況でこの3月末までに工事が完了するのかを問う。	産業交流部長
	(5)	河川の山林側大木の倒壊の危険や堤防復旧、猪柵の現状復帰について 水害では何とか倒木をしのいだ木々も、根っこ部分が洗われ、昨年末と今回の異常寒波による積雪で、河川側へ多くの大木が倒れ猪柵への二次被害もみられるが、山林側の堤防復旧と猪柵の現状復帰について今後の予定を問う。	産業交流部長
	(6)	奥能登モデルの事前伐採事業の採用について 猪柵の二次被害を被らないためにも、大雪で電柱や電線に大きな被害を受け、長期間の停電により住民生活に多大な影響を受けたことを教訓にした事前伐採事業を、中山間地域の川沿いで採用する考えはないのかを問う。	産業交流部長
	(7)	近接工事現場における受注業者間の完了遅れによる稲作等の補償や補填について 堤防復旧や田面土砂等の撤去工事が隣接、近接している現場もあると聞く。そうした中で工事完了遅れ等が生じ、稲作等の準備作業の投資が無駄になるとの心配があるが、営農継続を後押しするための補償や補填はどのように考え、どの時点で実施されるのかを問う。	産業交流部長
	2. いしかわ農業参入支援ファンド事業について		
(1)	平成26年に制度化された、いしかわ農業参入支援ファンド事業について（1） 能登地域の人口減少、離農農家や耕作放棄地の増加対応で、いしかわ農業参入支援ファンド事業が創設された。能美市の中山間地域でも耕作放棄地が多く見られるが、これらの解消を目的とする本制度に対する思いや対応をどう感じているかを問う。	市長	
(2)	平成26年に制度化された、いしかわ農業参入支援ファンド事業について（2） 能美市として、この制度に対して今後さらなる付加価値を加え、営農意欲を高める市独自の施策の考えがないかを問う。	産業交流部長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
7番 卯野修三（一問一答）			
1. リスキリング（学び直し）について			
(1)	産学官金労の連携について	他市において、商工会議所、商工会、金融機関、労働組合とリスキリングの促進に関する協定を結んだとの報道があったが、能美市におけるリスキリングの促進について、産学官金労の5つの連携の現状と、今後、どのように取り組んでいくのかを問う。	市長
(2)	市職員のリスキリングについて	能美市として、市職員のリスキリングについて、どのように考えているのかを問う。	総務部長
(3)	市職員のリスキリングの現状把握と処遇への反映について	市職員におけるリスキリングの把握の仕方、及び資格取得の際は、処遇に反映させるなどの制度の創設について、今後の展望を問う。	総務部長
(4)	目指すゴールを決めたリスキリングについて	市職員の職務履歴に応じて、目指すゴールを決めて、リスキリングに取り組む手段を問う。	総務部長
2. 特別支援教育について			
(1)	特別支援学校の分校誘致について	小松市内の特別支援学校の分校を、石川県立寺井高校に誘致できないか、県に働きかける考えはないかを問う。	教育長
(2)	特別支援学級の教員増員について	教員一人に対する児童生徒数を減らし、より丁寧に障害のある児童生徒に接するために、教員を増やすことはできないかを問う。	教育長
3. 電気料・燃料費支援について			
(1)	事業者向けの電気料・燃料費支援について	事業者向けの電気料・燃料費の支援について、どのように考えているのかを問う。	産業交流部長
4. こども家庭庁について			
(1)	こども家庭庁発足に伴う能美市の対応について	国では、こども家庭庁発足により、こども関連政策を集約し、切れ目のない包括的支援に取り組むこととしているが、能美市としてこども政策に関し、最善の対応ができる体制について、どのように考えているのかを問う。	健康福祉部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
3	6番 山下 毅（一問一答）			
	1. 火災予防対策について			
	(1)	高齢者世帯の火災による危険性の低減を図るための取組について	高齢者世帯の火災による危険性の低減を図るための取組を問う。	消防長
	(2)	住宅用火災警報器の設置状況及び広報啓発活動について	本市における住宅用火災警報器の設置状況及び広報啓発活動について問う。	消防長
	(3)	住宅用火災警報器状況の調査方法について	住宅用火災警報器設置状況の調査方法について問う。	消防長
	(4)	住宅用火災警報器の設置効果及び奏功事例について	住宅用火災警報器の設置効果及び奏功事例について問う。	消防長
	(5)	住宅用火災警報器の交換の指導及び周知について	住宅用火災警報器の設置義務から10年以上経過しているが、交換の指導及び周知について、どのように行っているのかを問う。	消防長
	2. 市職員のメンタルヘルスケアについて			
	(1)	メンタルヘルスの予防対策及び早期発見の取組状況について	メンタルヘルスの予防対策及び早期発見の取組状況について問う。	総務部長
	(2)	休職から職場復帰までの取組状況について	休職から職場復帰までの取組状況について問う。	総務部長
	(3)	再発防止の取組状況について	職員が再び心の不調で休職するということがないよう、市として対策を講じるべきと考えるが、再発防止の取組状況について問う。	総務部長
	(4)	メンタルヘルスの現状と展望について	メンタルヘルスの現状と展望について問う。	市長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
4	3番 中村純子（一問一答）		
	1. 根上総合文化会館の利用促進について		
	(1) 利用状況について	新型コロナウイルス感染症の影響による近年の利用状況と最も利用された時の状況を問う。	教育委員会 管理局长
	(2) 駐車場について	駐車場が満車になることは年に何回あり、その場合の駐車場確保について問う。	教育委員会 管理局长
	(3) 利用促進について	来年30周年を迎えるが、今後の運営や施設整備の方針について問う。	市長
	2. 根上総合文化会館西側の土地利用について		
	(1) 地元から要望があった土地区画整理事業について	地元から要望があった根上総合文化会館西側の要望後の取組と土地の市街化区域への編入による、土地区画整理事業の可能性について問う。	土木部長
	(2) 都市機能の誘導について	能美市都市計画マスタープランの地域別将来像にある「幹線道路沿線における都市機能の誘導」とは、どのような将来像であるのか問う。	土木部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
5	1番 中野廣志（一問一答）			
	1. 指定管理者の協定について			
	(1)	同一敷地の複数施設の協定の見直しについて	<p>現行の協定の様式では、学習会館と児童館での指定管理者が異なった場合、安全管理責任の所在が不明確である。協定の様式か、協定の体系を変更していかなる協定にも対応できるようにすべきではないか。</p>	総務部長
	2. シティプロモーションについて			
(1)	関係人口拡大の今後の強化策について	<p>多くの人が訪れ、多様な方々がこの能美市で活躍し、関わり合いをつくり出そうとしている動きが活発になってきた2018年から4年、コロナ禍を経て今後の関係人口拡大の強化策を問う。</p>	市長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
	2番 荒井昌宏(一問一答)		
	1. 学校教育の充実について		
6	(1) フォローアップスクール事業について	フォローアップスクール事業の役割と成果を問う。	教育長
	(2) 心の教育推進事業について	児童生徒に実施したQ-Uアンケートの目的と、今後の心の教育推進にどのように生かしていくのかを問う。	教育長
	(3) 特別な支援を必要とする子どもたちの教育の充実について	社会参加や自立を目指し、一人ひとりのニーズに応じた教育の現状と今後の取組を問う。	教育長
	(4) コミュニティ・スクールについて	「地域とともにある学校づくり」をめざすコミュニティ・スクールの取組において、地域とのネットワークをさらに深めるための対策を問う。	教育長
	2. 能美市の地域力について		
	(1) 地区公民館活動の今後の展開について	地域力向上を図るため、各町会・町内会の自治公民館がその役割を担い様々な活動を行っている。一方、市においては地区公民館が社会教育を推進する立場から、生涯学習講座、スポーツイベント等を開催しているが、その活動内容の現状と今後の展開について問う。	市長
	(2) 地域の世代間交流の充実について	地域力の向上を図る上で、世代間の交流を深めることが重要であるとする。地域コミュニティの中心的な役割を果たしている自治公民館で実施される、世代間交流を含めた活動の充実を図ることが重要であると考えますが、市としての見解を問う。	教育委員会 管理局长

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
7	5番 今尾晃司（一問一答）			
	1. 辰口中央地域・和気地域の都市整備構想について			
	(1)	宅地開発、道の駅機能を持つ施設整備の構想について	市は金沢大学用地の宅地開発、辰口フラワーハウス跡地に道の駅機能を持つ施設整備という、辰口中央地域・和気地域の活性化につながる大きな構想を進めている。この構想への思いと、能美市全体へ及ぼす影響を問う。	市長
	(2)	金沢大学用地の宅地開発における自然環境対策について	令和3年10月から実施された環境調査における希少野生動植物の生息調査の結果概要と、調査結果を踏まえた自然環境対策の計画を問う。	土木部長
	(3)	辰口フラワーハウス跡地への道の駅機能を持つ施設整備について	昨年実施されたサウンディング型市場調査に基づき、「地域のにぎわい拠点」としてどのような施設を整備するのか、規模および魅力づくりの構想、今後のスケジュールを問う。	産業交流部長
	(4)	辰口丘陵公園のリニューアルについて	自然豊かな辰口丘陵公園は地域活性化の大きな可能性があると考えられる。施設の老朽化が進んでいる辰口丘陵公園を、能美市が主体となってリニューアル事業を計画してはどうか。	産業交流部長
	2. 緑が丘の認定こども園（保育園）の民営化について			
	(1)	地元町会および保護者の意見と市の対応について	民営化説明会等において、地元町会および保護者から出された意見と市の対応、また、民営化に向け特に配慮すべきことと今後の説明会の予定について問う。	健康福祉部長
	(2)	新園舎建設場所について	新園舎建設場所を決定した経緯、建設場所として重要視した点や利便性、新園舎の定員等の概要、併せて大雨災害を想定した浸水対策について問う。	健康福祉部長
	(3)	事業者選考について	今後の事業者選考のスケジュールと、事業者選考に当たって、教育・保育の展開にどのような特色を事業者に求めるのか、市の方針を問う。	健康福祉部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
4番 澤田 貞（一問一答）			
1. 地域共生社会の実現について			
8	(1)	第9期いきいきプラチナプラン策定について 第6期計画以後のプランは、2025年に向けた中長期的な視野に立った施策の展開が図られて来たが、第9期プラン策定に当たり「プラチナ」色が一層輝く市長の意気込みを問う。	市長
	(2)	「地域包括ケアシステムの構築」から「地域共生社会の実現」について 能美市の関係部署の縦割り行政から丸ごとへの転換を図った「横系プロジェクト」チームと、市民活動の横系である「地域包括支援体制推進協議体（のみ共）」の2本柱において、横系と縦系のつながり＝「地域共生社会の実現」に向けた取組と手応えについて問う。	副市長
	(3)	第四次能美市地域福祉計画について 第四次能美市地域福祉計画では、実効性を高めるために数値目標が設定されているが、介護予防や市民の健康寿命の延伸、インクルーシブで属性に捉われない重層的支援体制の構築等、これらの具体的な取組について問う。	健康福祉部長
	(4)	ホームヘルパーの充実について 今後予想される介護現場の人手不足に対し、「プラチナ」が変色・変質しない有効な介護人材の確保の充実について問う。	健康福祉部長
2. 適切な土地利用について			
	(1)	市街地と田園部の均衡ある土地利用について まちづくりの目標を「市街地と田園部の均衡ある能美市独自の共生型土地利用」を実現するとして、開発可能エリアが限定されている。しかし、開発規制区域内において止むを得ない事情等で「制限」がなし崩しにならないか危惧されるが、そのための強化策を問う。	土木部長
3. 空き家対策について			
	(1)	空き家の維持管理と安全対策について 空き家の実態調査から、周辺住民の快適な居住環境の保全を図るため、適正な維持管理や危険性の高い空き家の所有者に対し、積極的な行政の関わりについて問う。	土木部長
	(2)	空き家のライフラインの維持管理について 水道管等空き家のライフラインの破損が市民生活に悪影響を及ぼす。所有者への維持管理責任を強化し、万全を期すことが肝要と思うが、行政の強いリーダーシップを問う。	土木部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
9	10番 山本 悟（一問一答）			
	1. 教員の働き方改革について			
	(1)	能美市における教員多忙化の現況について	全国的に教員の多忙化が改善されておらず、それにより精神疾患で休職した公立学校の教員が過去最多となっているが、能美市の現況を問う。	教育委員会 管理局長
	(2)	コミュニティスクールの役割について	浜小学校が文部科学大臣表彰を受けるなど全国的に高い評価を受けている能美市のコミュニティスクールがどのような役割を果たしているか。	教育委員会 管理局長
	(3)	コミュニティスクールの更なる充実を図れ	児童生徒の健やかな成長に必要不可欠であり、教員の働き方改革の一助ともなるコミュニティスクールの更なる充実のため、どのような構想を練っているか。	教育長
	(4)	給食費の徴収方法及び食材の納入方法の現状について	文部科学省は教員の業務負担の軽減のため、学校給食費の「公会計制度」の採用を提唱しているが、能美市の現状はどうか。	教育委員会 管理局長
	(5)	学校給食費の公会計化を推進せよ	学校給食費の公会計化を進め、教職員の負担軽減を図り、働き方改革につなげるべきと考えるが、教育委員会の見解を問う。	教育長
	2. 動物愛護について			
	(1)	寄り道パーキング和気の岩のドッグランの利用状況について	愛犬家にとっても貴重な息抜きの場所になっている寄り道パーキング和気の岩の「ドッグラン」の利用状況を問う。	土木部長
	(2)	市内に新たなドッグランを設置せよ	愛犬家にとっての悩みの種である愛犬のストレス解消のために更に規模の大きなドッグランを新たに設置せよ。	市民生活部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
10	11番 田中 大佐久（一問一答）		
	1. 豪雪対策について		
	(1) 立ち往生対策の連携について	立ち往生による交通の遮断や事故を防止するために、早い段階での交通状況の把握、予防的な通行止め、広域的な迂回の呼びかけなどの対策について、国、県、高速道路会社、及び警察などとの連携・協議の状況を問う。	土木部長
	(2) 大型車対策について	立ち往生のきっかけになることの多い大型車のチェーン装着などの対策を徹底していただくため、市内での装着場所の確保状況、及び誘導策について見解を問う。	土木部長
	(3) 立ち往生時の救助・救援体制について	雪に閉じ込められた車中での凍死や、一酸化炭素中毒での死亡などが相次いで報道されている。市内で、万一、立ち往生が発生してしまったときの救助・救援体制は万全か見解を問う。	消防長
	(4) 大雪時の外出に係る準備について	大雪が予想されたときはその地域には行かないことが大切であるが、どうしても通行しなければならないときはチェーンの装着、スコップや水、非常食、毛布、軍手、懐中電灯などの準備が不可欠であると考える。大雪時の外出に係る備えの周知について見解を問う。	土木部長
	(5) SNSの活用について	今や、SNSは情報伝達手段の中心となっている。現在の災害発生時におけるSNSの活用について取組状況を問う。	総務部長
(6) 避難行動対策について	災害が発生しても「自分は大丈夫」と正常性バイアスが働き、避難行動につながらないことが想定される。バイアスを取り除くための対策について見解を問う。	副市長	
(7) 小型除雪機の利用について	平成30年の豪雪を教訓として、翌年度に除雪体制を検証し、新たな対策が図られた。町会・町内会への支援策として小型除雪機が各地区に配備されている。小型除雪機の利用状況、及び町会・町内会に対する機械の操作方法や事故防止対策について見解を問う。	土木部長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
1 1	15番 近藤啓子（一問一答）		
	1. 子育て支援について		
	(1) 学校給食の無償化について	憲法第26条の「義務教育は無償とする」のもと、学校給食費を無償にすべきでないか。	教育委員会 管理局长
	(2) 就学援助の拡大について	就学援助における給食費を現物給付とし負担を減らすべきでないか。 また、経済的困窮者に対して、就学援助を申請しやすい方策を検討すべきでないか。	教育委員会 管理局长
	(3) 国民健康保険における子どもの均等割について	18歳まで均等割を半額にするための必要金額は約600万円であり、基金の活用を含め実施すべきでないか。	健康福祉部長
	2. デジタル田園都市国家構想について		
	(1) 具体的な取組と今後の計画について	実装タイプ2の事業採択による具体的な取組と今後の計画はどうか。	市長
	(2) 医療介護DX推進協議会の構成メンバーについて	令和4年度医療介護DX推進協議会の構成メンバーはどうか。特に情報関係における企業の参加はあるのか。共通プラットフォームにおけるデータ管理責任はどこにあるのか。	健康福祉部長
	(3) 個人情報保護について	多職種間の連携の中でケアされる個人情報、どのように守られるのか。	健康福祉部長
	(4) デジ田総合戦略の策定について	国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえ、能美市の総合戦略の改訂が予定されているが、デジタル技術を活用した自治体の公共サービスの向上、福祉の向上に役立つ取組を求めているがどうか。	企画振興部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
9番 仙台 謙三（一問一答）			
1. 発達性読み書き障害（ディスレクシア）について			
(1)	早期発見のための検査について	ディスレクシアの疑いがある児童・生徒をどの程度把握されているのか。ディスレクシアの疑いのある児童・生徒を早期に発見できるような取組として、学校現場ではどのような検査が行われているのか。	教育長
(2)	サポート体制について	障害の困難さを軽減するため、学校現場においてタブレット端末の活用やデジタル教科書を効果的に活用できるよう、教育委員会からの後押しが必要ではないか。	教育長
(3)	リーフレット作成など理解を促す取組について	保護者等を対象に、発達性ディスレクシアに関する分かりやすいリーフレットの作成、学習会や講演会の開催など、発達性ディスレクシアへの理解を促す必要があると考えるが、見解を問う。	教育委員会 管理局長
2. 教育相談と対応について			
(1)	教育相談の状況について教育長の所感を問う	教育相談について、特に、不登校に関する相談の内、その他が76件、その他の相談が957件とあるが、差し障りのない範囲での具体的な相談内容と、教育長の考えについて問う。	教育長
(2)	いじめの相談先について	教育相談における「いじめ」に関する相談は「0」とのことである。これまでもいじめの相談は、教育相談という形ではなく、各学校（教職員）や教育委員会などが相談先なのか。現状を問う。	教育長
(3)	相談後の対応やケアについて	教育相談後の対応やケアについて、どのような対応を行っているのか。また、誰がどのように対応し、解決や何らかの着地点が見いだせるまでフォローするのかを問う。	教育長
3. 特別支援教育支援員について			
(1)	特別支援教育支援員の確保について	現段階における、望ましい特別支援教育支援員の人数と、併せて支援員の経験や資格などの要件について問う。	教育委員会 管理局長
4. 障害児福祉サービスについて			
(1)	児童発達支援・放課後等デイサービスについて	ここ数年ないしは最近の傾向として、どのようなプログラムに対するニーズがあるのかを問う。また、それらのニーズに対して、どのような対応を行っているのか。今後の市の体制について問う。	市長
5. 緑内障の検診受診勧奨について			
(1)	緑内障の検診受診勧奨について	行政として、医療機関や医師会と協議を行い、例えば40歳など、一定の年齢となる前年などに、市民への緑内障の検診受診勧奨の取組を行うことが重要と考えるが、見解を問う。	健康福祉部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
1 3	8番 北村周士（一問一答）			
	1. コミュニティセンターの維持存続について			
	(1)	コミュニティセンターの管理計画、位置付けの認識について	コミュニティセンターの老朽化が進んでいる。自治公民館や児童館とどのように差別化し、今後活用、維持・存続させていくのか。公共施設等総合管理計画における中長期的な視点に基づいた認識を問う。	総務部長
	2. 健康ロード（ヘルスロード）の管理について			
	(1)	健康ロードの管理について	健康ロードの除雪について、歩行者や通学者の安全を考慮し、市として行うべきではないか。また、町会や子ども会等関係諸団体と管理について連絡等は行われているのか。	土木部長
	3. 貴重資料・重要作品等の購入について			
	(1)	重要作品の購入予算計上や購入指針を策定せよ	貴重資料購入費を予算計上し、その収集に努めるとともに、一定の水準を定め、作品購入ができるような指針策定をしてはどうか。	教育委員会 管理局長
	4. 各種団体の維持存続について			
(1)	各種団体の持続性について	壮年団や女性会（婦人会）、老人会など、各種団体の維持存続が難しくなっている現状を把握しているか。また、それらが解散、存続できていない状況について、市はどのような見解をもっているか。そして、それらの現状把握に努め、市として問題解決を図るためのサポートをしていく考えはあるのか。	市長	